

# 徳島市産業実態調査(製造業)

## 単純集計報告書

平成 25 年 9 月



## 《 目 次 》

I. 集計結果の概要 .....	1
1. 回答事業所の概要 .....	1
(1) 事業所形態 .....	1
(2) 生産形態 .....	1
(3) 市内従業者 .....	2
(4) 現在の代表者 .....	3
(5) 市内での事業年数 .....	3
(6) 観光産業・農林水産業とのかかわり .....	4
2. 業況 .....	5
(1) 原材料の仕入れ先 [問3] .....	5
(2) 製品の納入先 [問4] .....	5
(3) 昨年度の売上高 [問5] .....	7
(4) 売上高に対する仕入高の割合 [問6] .....	7
(5) 2～3年前と比べた売上高の変化 [問7] .....	8
(6) 売上高増加の主な要因 [問8] .....	8
(7) 売上高減少の主な要因 [問9] .....	9
(8) 過去1年間の新規取引のきっかけ [問10] .....	9
(9) 徳島市内で生産を休止・廃止している生産施設や遊休土地の有無 [問11] .....	10
3. 企業の強みと経営上の課題・問題点 .....	11
(1) 企業の強み [問12] .....	11
(2) 経営上の課題・問題点 [問13] .....	12
(3) 課題・問題点の解決等のための取り組み [問14] .....	13
4. 事業環境 .....	14
(1) 現在の場所での事業上の利点 [問15] .....	14
(2) 現在の場所での事業上の問題点 [問16] .....	15
5. 今後の事業 .....	16
(1) 現在の場所での事業継続意向 [問17] .....	16
(2) 今後の事業規模・事業分野についての考え [問18] .....	16
(3) 取り組みたい新規事業 [問19] .....	17
(4) 海外への進出状況 [問20] .....	17
(5) 現在の海外進出の形態 [問21] .....	18
(6) 事業継承についての考え [問22] .....	18
(7) 従業員採用に関する課題 [問23] .....	19
(8) 人材に充実させたい能力 [問24] .....	19
(9) 人材育成のために実施している取り組み [問25] .....	20
(10) 人材育成上の課題 [問26] .....	20
(11) 技能継承問題への対応状況 [問27] .....	21

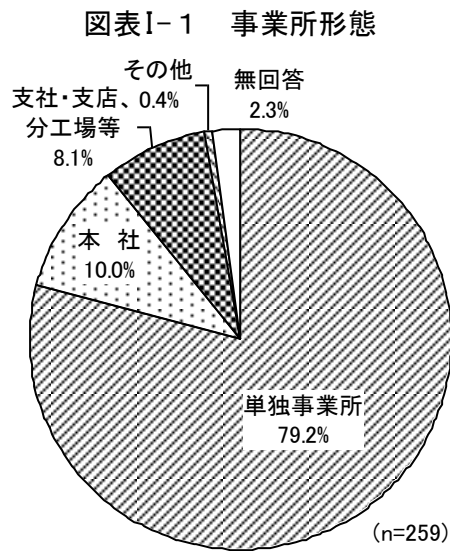
(12)	保有している知的財産権 [問 28]	21
(13)	過去1年間の資金調達手段 [問 29]	22
(14)	災害への備え [問 30]	22
(15)	加盟している関係団体 [問 31]	23
(16)	地域資源を使った製品の製造状況 [問 32]	23
6.	支援策の活用状況	24
(1)	関わりがあった産業支援機関 [問 34]	24
(2)	支援策の活用状況・意向 [問 35、問 36]	25
7.	徳島市が取り組むべき産業振興	27
(1)	徳島市の産業振興に向けて市が行うべき取り組み [問 37]	27
8.	自由意見	28

# I. 集計結果の概要

## 1. 回答事業所の概要

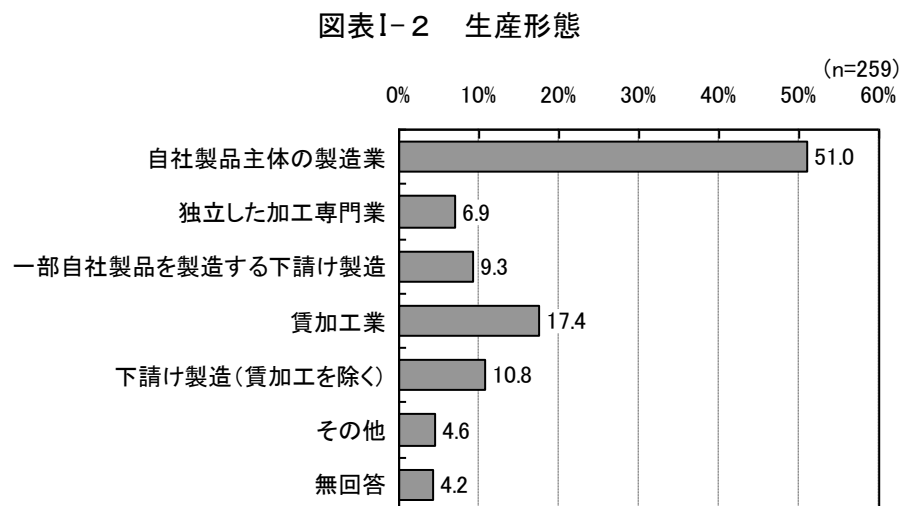
### (1) 事業所形態

「単独事業所」が79.2%と最も多い。



### (2) 生産形態

「自社製品主体の製造業」が51.0%と最も多く、ついで「賃加工業」17.4%、「下請け製造（賃加工を除く）」10.8%となっている。

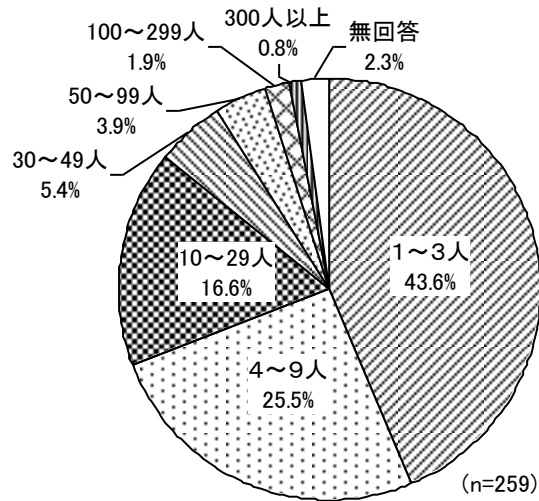


### (3)市内従業者

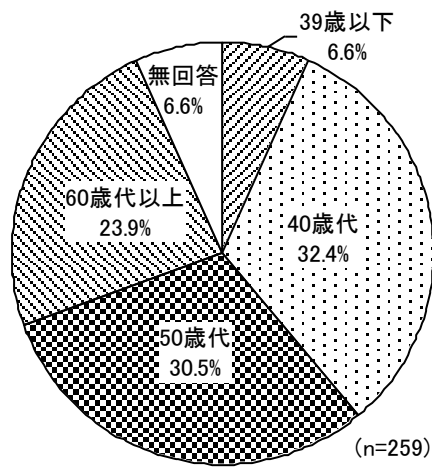
市内全事業所での従業者総数をみると、「1～3人」が43.6%と最も多く、「4～9人」25.5%、「10～29人」16.6%がこれに続く。

従業員の平均年齢では、「40歳代」「50歳代」がともに約3割となっている。

図表I-3 市内従業者数

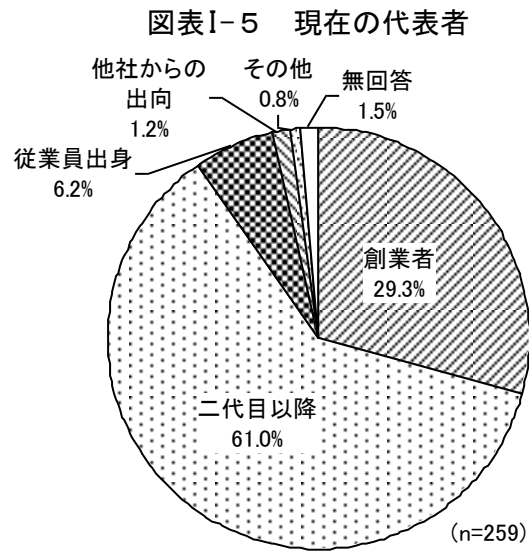


図表I-4 従業員平均年齢



#### (4)現在の代表者

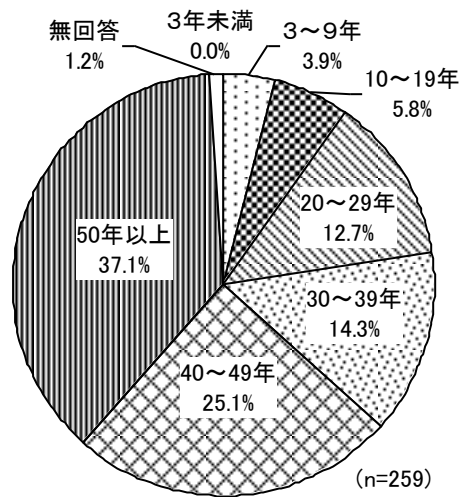
「二代目以降」が61.0%と最も多く、「創業者」29.3%がこれに続く。



#### (5)市内での事業年数

「50年以上」が37.1%と最も多く、ついで「40～49年」25.1%、「30～39年」14.3%となっている。

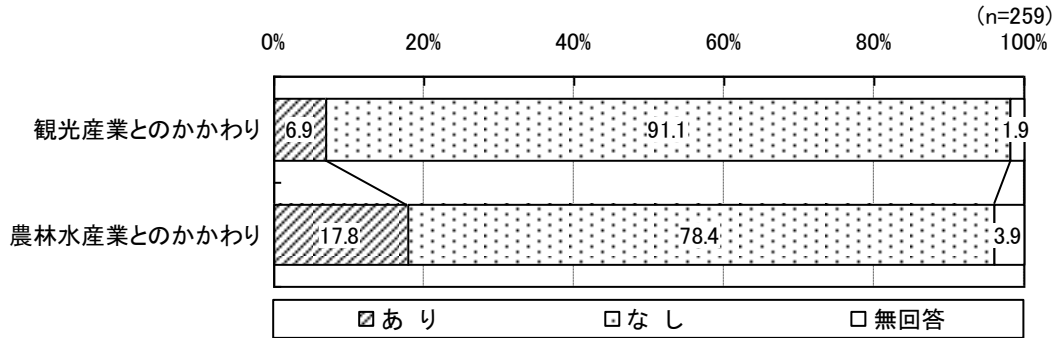
図表I-6 市内での事業年数



### (6) 観光産業・農林水産業とのかかわり

観光産業とのかかわりがある事業所は 6.9%、農林水産業とのかかわりがある事業所は 17.8%である。

図表I-7 観光産業・農林水産業とのかかわり



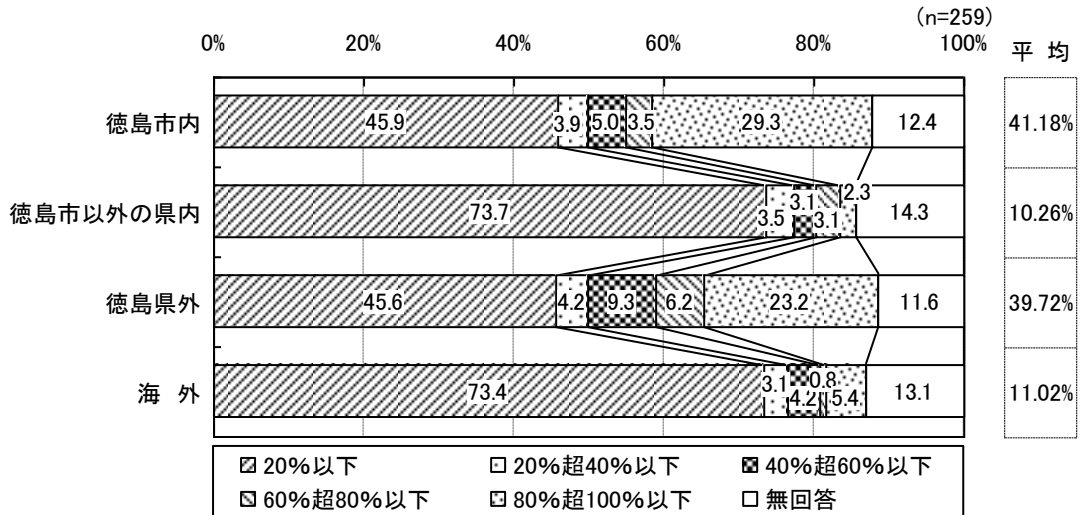


## 2. 業況

### (1) 原材料の仕入れ先 [問3]

所在地別割合（平均）では、「徳島市内」「徳島県外」がともに約4割を占める。

図表I-8 原材料の仕入れ先



### (2) 製品の納入先 [問4]

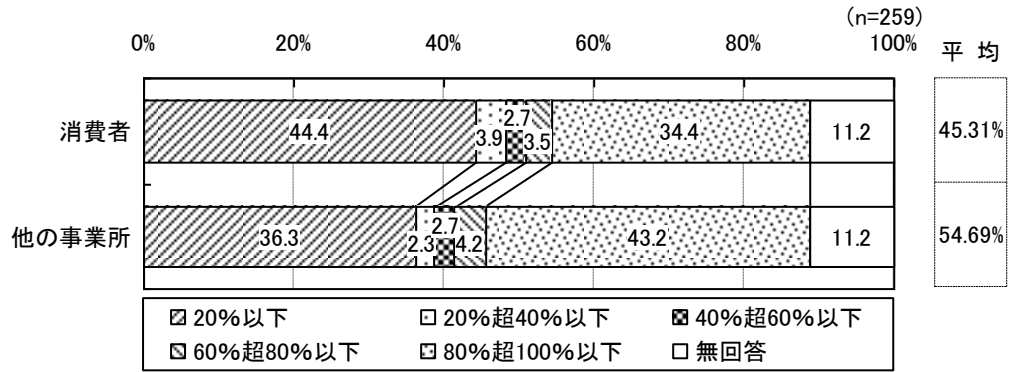
所在地別割合（平均）では、「消費者」よりも「他の事業所」がやや多い。

内訳をみると、「徳島市内の消費者」25.3%、「徳島県外の事業所」21.7%、「徳島市内の事業所」20.6%の順となっている。

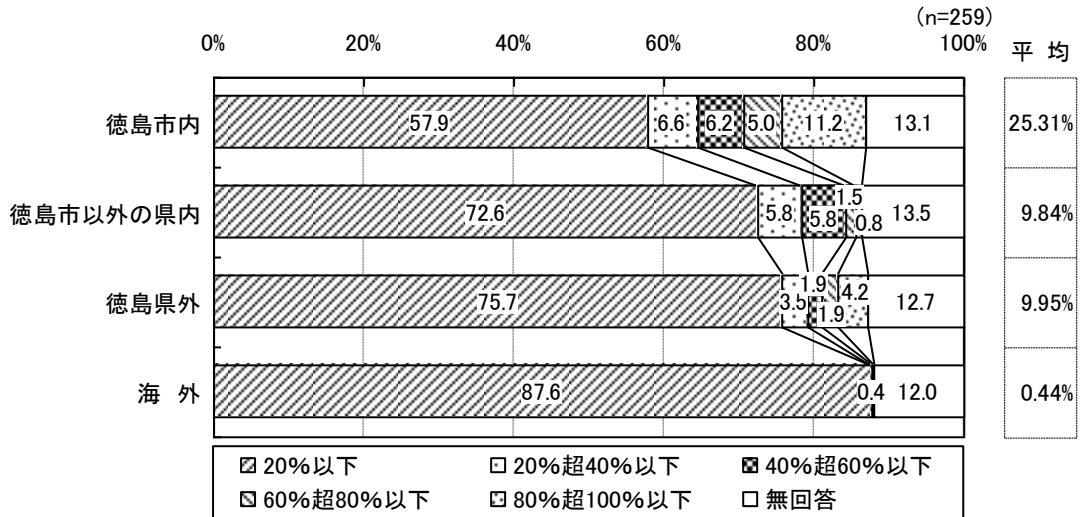
図表I-9 製品の納入先（平均）

納入先	(内訳)				
	徳島市内	徳島市以外の徳島県内	徳島県外	海外	
消費者	45.31%	25.31%	9.84%	9.95%	0.44%
他の事業所	54.69%	20.64%	11.32%	21.75%	0.71%

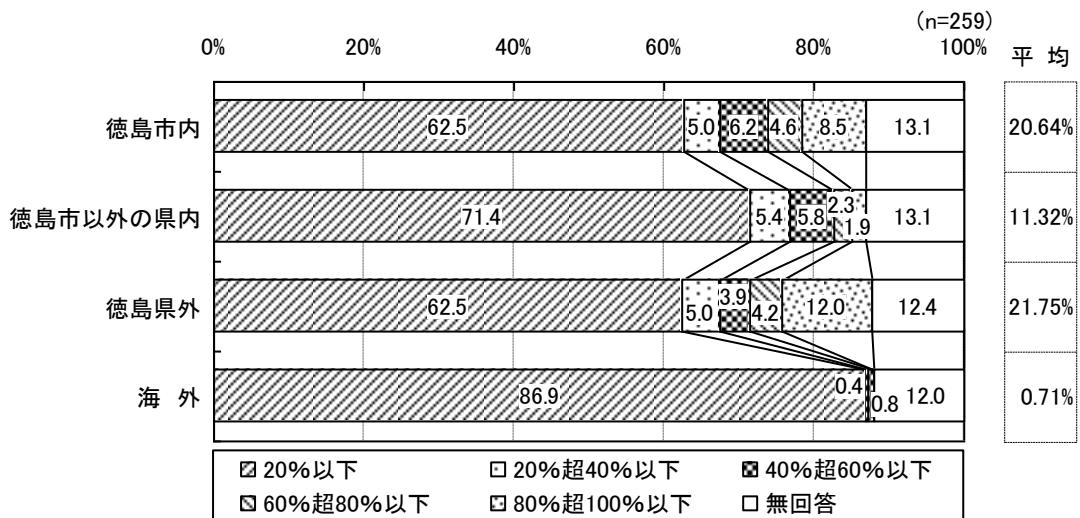
図表I-10 製品の納入先



図表I-11 納入先の内訳（消費者）



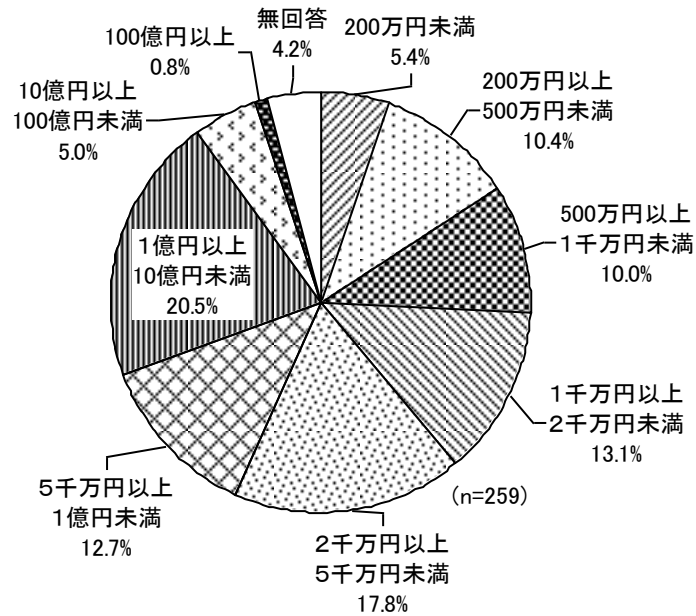
図表I-12 納入先の内訳（他の事業所）



**(3) 昨年度の売上高 [問 5]**

「1億円以上10億円未満」が20.5%と最も多く、「2千万円以上5千万円未満」17.8%がこれに続く。

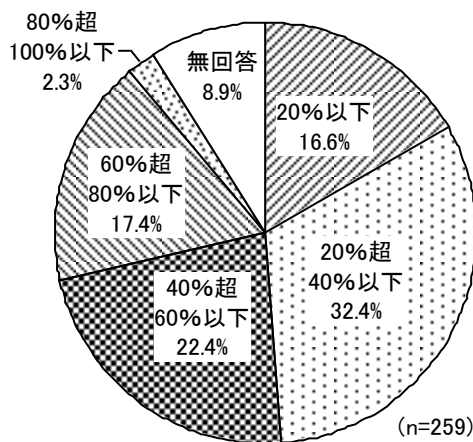
図表I-13 事業所の昨年度の売上高



**(4) 売上高に対する仕入高の割合 [問 6]**

「20%超 40%以下」が32.4%と最も多く、ついで「40%超 60%以下」22.4%、「60%超 80%以下」17.4%となっている。

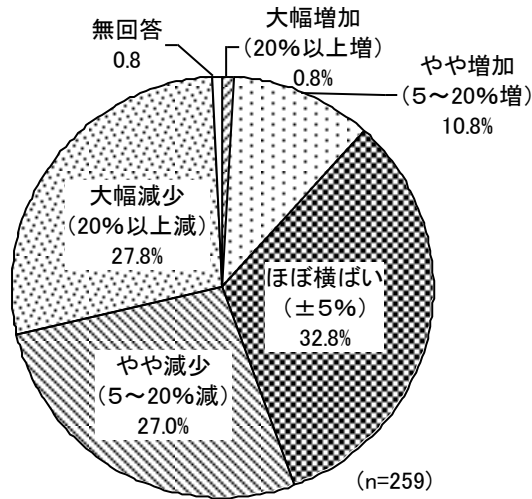
図表I-14 売上高に対する仕入高の割合



(5) 2～3年前と比べた売上高の変化 [問7]

増加した（「大幅増加」0.8%＋「やや増加」10.8%）との回答は11.6%である。  
 減少した（「やや減少」27.0%＋「大幅減少」27.8%）との回答が54.8%と、半数以上を占める。

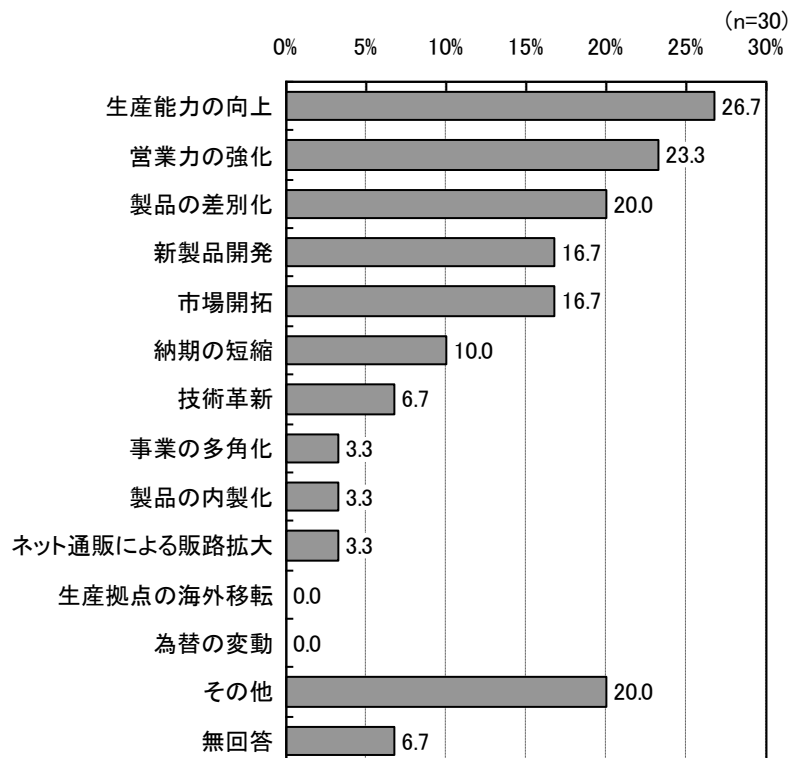
図表I-15 2～3年前と比べた売上高の変化



(6) 売上高増加の主な要因 [問8]

売上高が増加した事業所について、主な要因をみると、「生産能力の向上」が26.7%と最も多く、ついで「営業力の強化」23.3%、「製品の差別化」20.0%となっている。

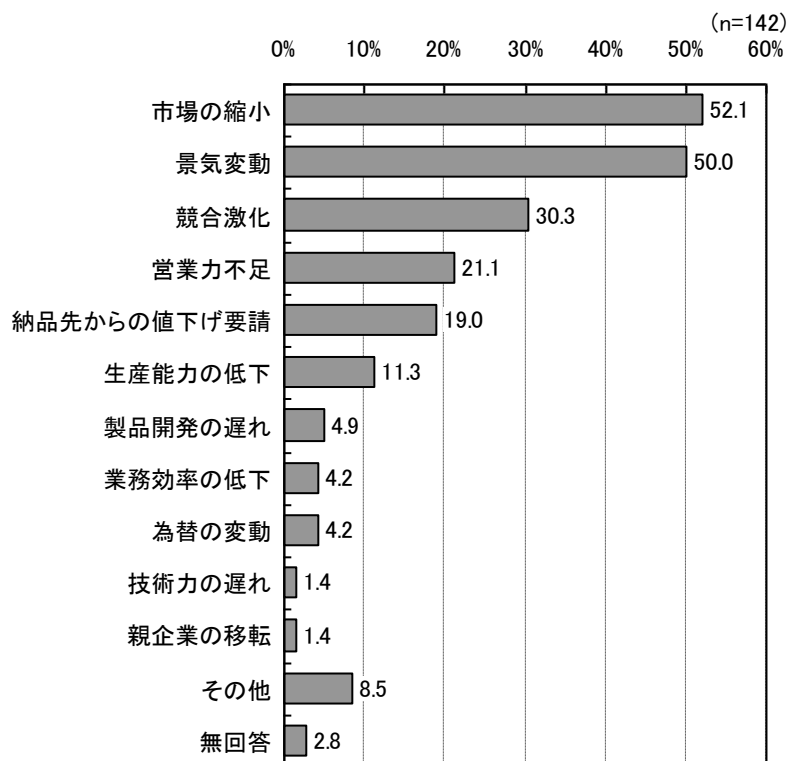
図表I-16 売上高増加の主な要因（売上高が増加した事業所ベース）



### (7) 売上高減少の主な要因 [問 9]

売上高が減少した事業所について、主な要因をみると、「市場の縮小」が 52.1%と最も多く、「景気変動」50.0%、「競合激化」30.3%がこれに続く。

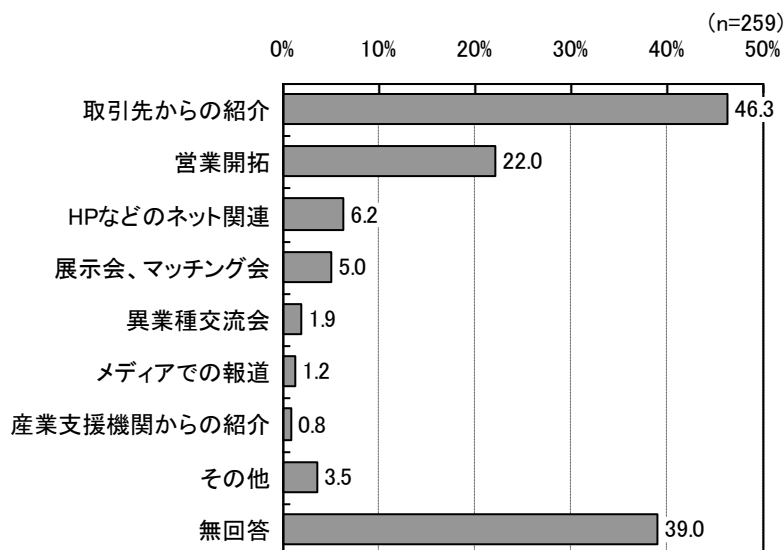
図表I-17 売上高減少の主な要因（売上高が減少した事業所ベース）



### (8) 過去1年間の新規取引のきっかけ [問 10]

「取引先からの紹介」が 46.3%と最も多く、「営業開拓」22.0%がこれに続く。

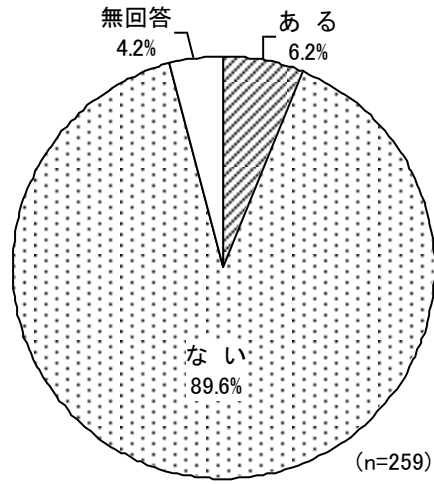
図表I-18 過去1年間の新規取引のきっかけ



(9) 徳島市内で生産を休止・廃止している生産施設や遊休土地の有無 [問 11]

徳島市内で生産を休止・廃止している生産施設や遊休土地が「ある」と回答している事業所は6.2%である。

図表I-19 徳島市内で生産を休止・廃止している生産施設や遊休土地の有無

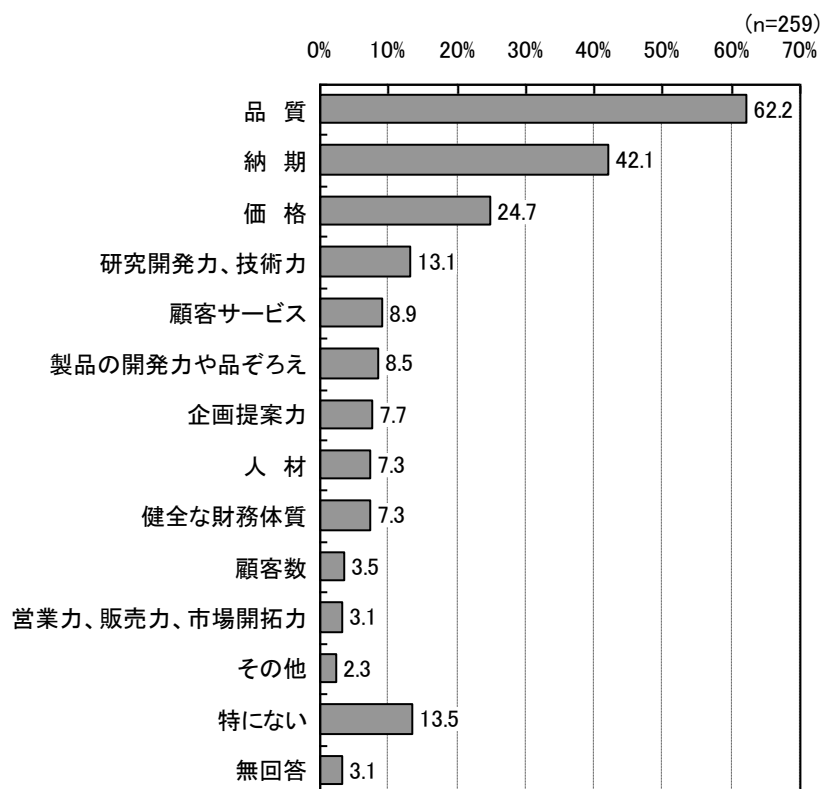


### 3. 企業の強みと経営上の課題・問題点

#### (1) 企業の強み [問 12]

「品質」が62.2%と最も多く、「納期」42.1%、「価格」24.7%がこれに続く。

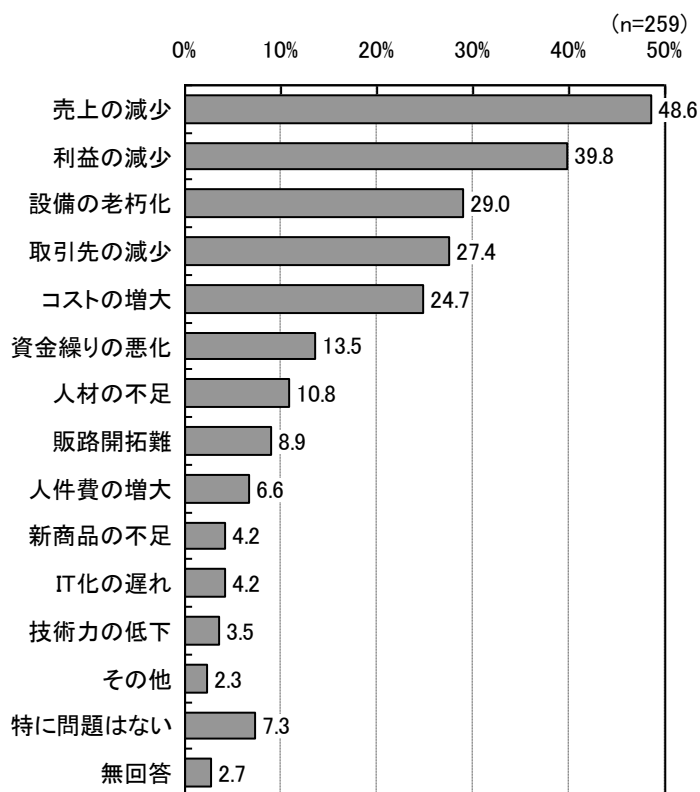
図表I-20 企業の強み



## (2) 経営上の課題・問題点 [問 13]

「売上の減少」が48.6%と最も多く、ついで「利益の減少」39.8%、「設備の老朽化」29.0%、「取引先の減少」27.4%となっている。

図表I-2 1 経営上の課題・問題点

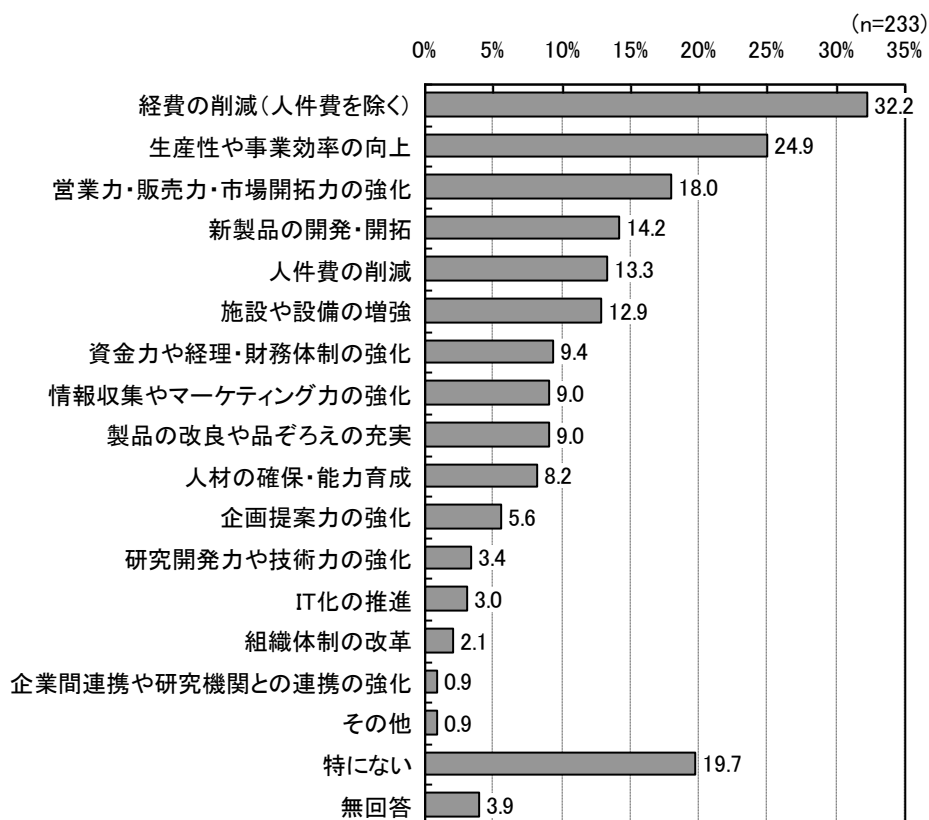




### (3) 課題・問題点の解決等のための取り組み [問 14]

経営上の課題・問題点がある事業所について、解決等のための取り組みをみると、「経費の削減（人件費を除く）」が 32.2%と最も多く、ついで「生産性や事業効率の向上」24.9%、「営業力・販売力・市場開拓力の強化」18.0%となっている。

図表I-22 課題・問題点の解決等のための取り組み（課題・問題点がある事業所ベース）



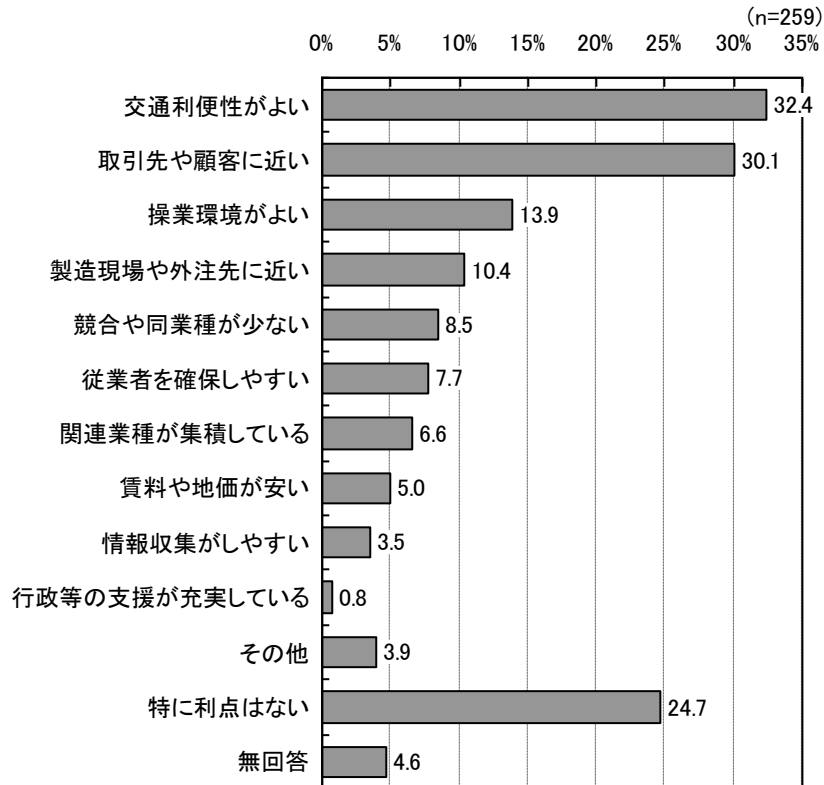
## 4. 事業環境

### (1) 現在の場所での事業上の利点 [問 15]

「交通利便性がよい」が32.4%と最も多く、「取引先や顧客に近い」30.1%がこれに続く。

また、2割強の事業所は「特に利点はない」(24.7%)と回答している。

図表I-23 現在の場所での事業上の利点

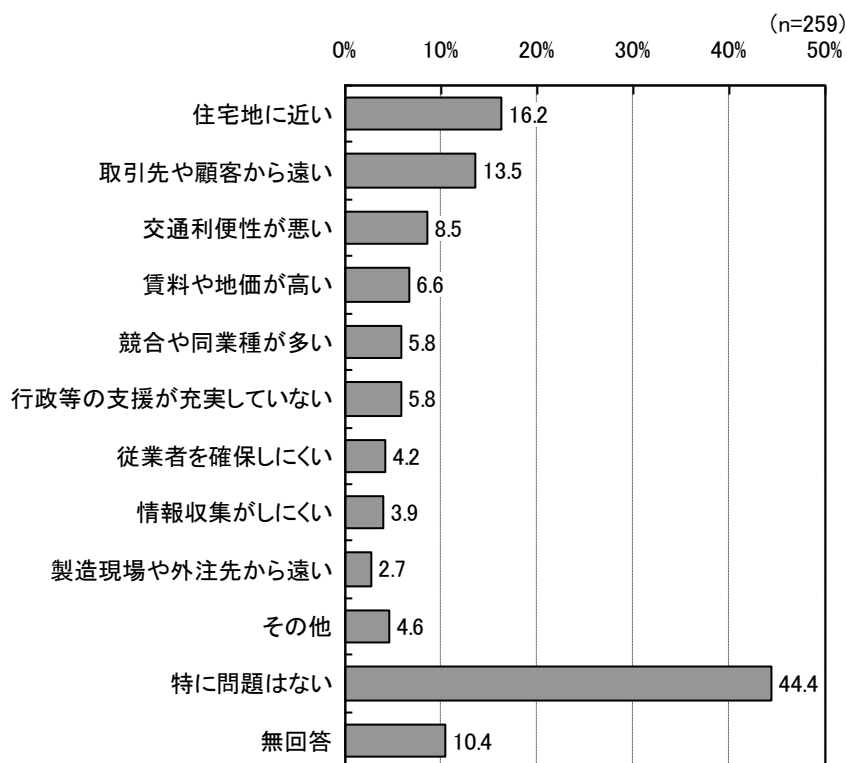


## (2)現在の場所での事業上の問題点 [問 16]

問題点として挙げられている項目では、「住宅地に近い」が 16.2%と最も多く、ついで「取引先や顧客から遠い」13.5%となっている。

また、4割強の事業所は「特に問題はない」(44.4%)と回答している。

図表I-24 現在の場所での事業上の問題点

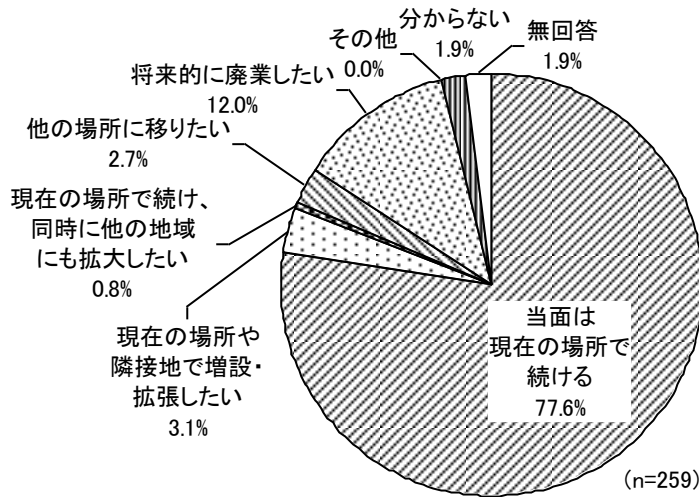


## 5. 今後の事業

### (1) 現在の場所での事業継続意向 [問 17]

「当面は現在の場所で行く」が77.6%と最も多く、「将来的に廃業したい」12.0%がこれに続く。

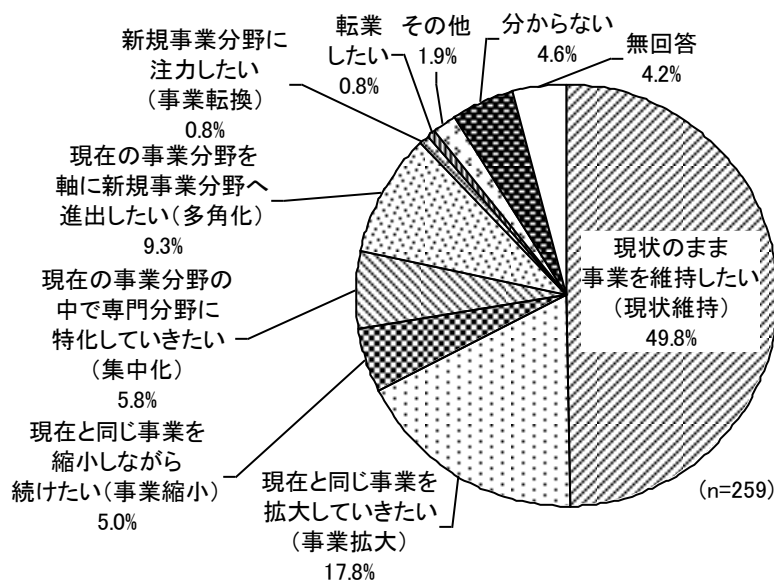
図表I-25 現在の場所での事業継続意向



### (2) 今後の事業規模・事業分野についての考え [問 18]

「現状のまま事業を維持したい（現状維持）」が49.8%と最も多く、約半数を占める。ついで「現状と同じ事業を拡大していきたい（事業拡大）」17.8%、「現在の事業分野を軸に新規事業分野へ進出したい（多角化）」9.3%の順となっている。

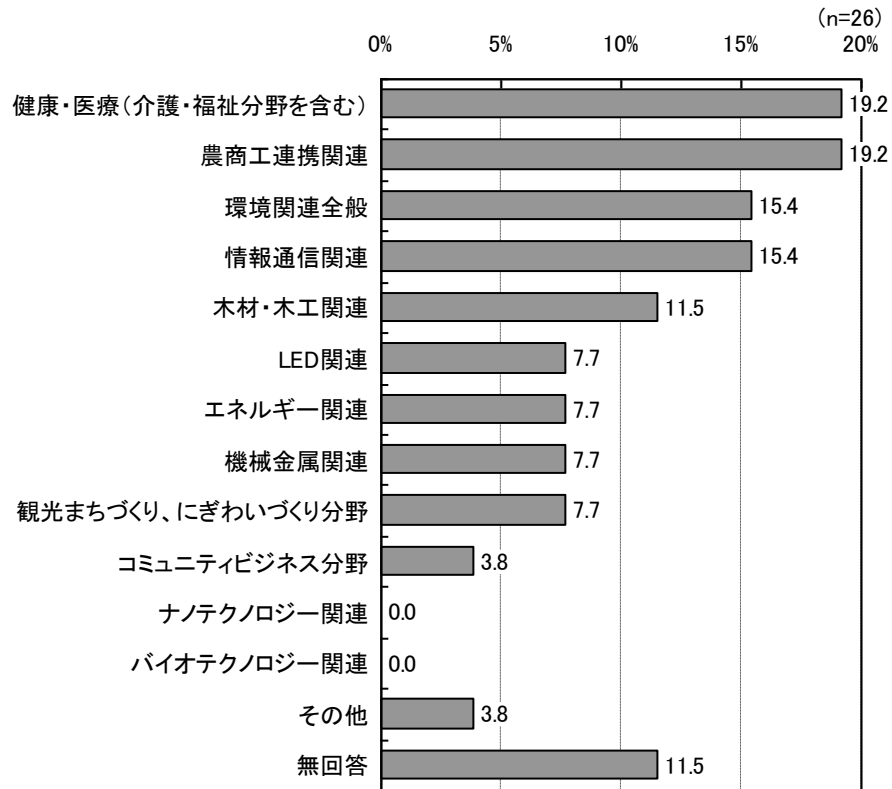
図表I-26 今後の事業規模・事業分野についての考え



### (3) 取り組みたい新規事業 [問 19]

多角化または事業転換したい事業所について、取り組みたい新規事業をみると、「健康・医療（介護・福祉分野を含む）」「農商工連携関連」がともに19.2%と最も多くなっており、「環境関連全般」「情報通信関連」15.4%がこれに続く。

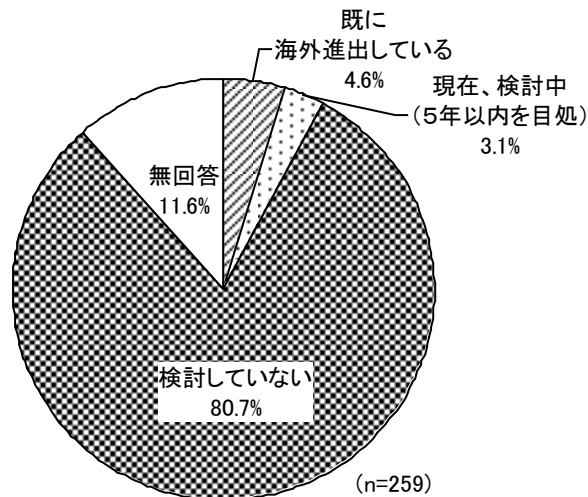
図表I-27 取り組みたい新規事業（「多角化」「事業転換」したい事業所ベース）



### (4) 海外への進出状況 [問 20]

「既に海外進出している」事業所は4.6%であり、「現在、検討中（5年以内を目処）」3.1%と併せても1割に満たない。

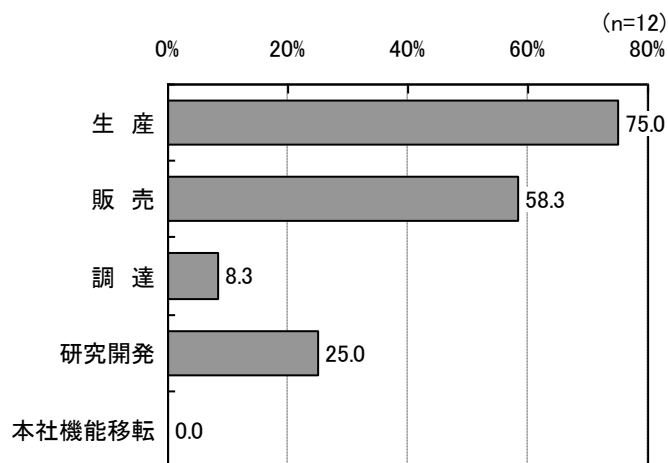
図表I-28 海外への進出状況



### (5)現在の海外進出の形態 [問 21]

既に海外進出している事業所の進出形態をみると、「生産」が75.0%と最も多く、「販売」58.3%がこれに続く。

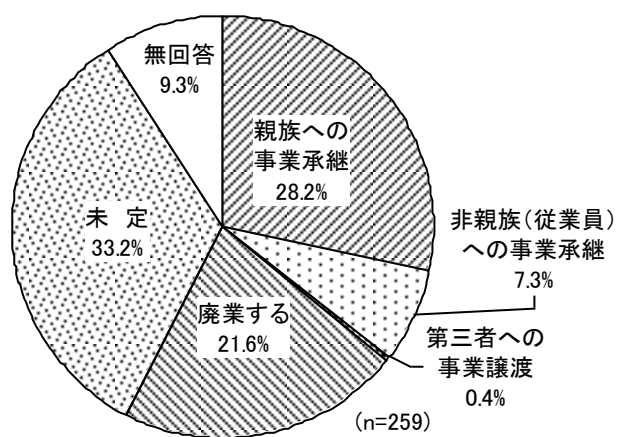
図表I-29 現在の海外進出の形態（海外進出している事業所ベース）



### (6)事業継承についての考え [問 22]

「未定」との回答が33.2%と最も多く、「親族への事業継承」28.2%、「廃業する」21.6%がこれに続く。

図表I-30 事業継承についての考え

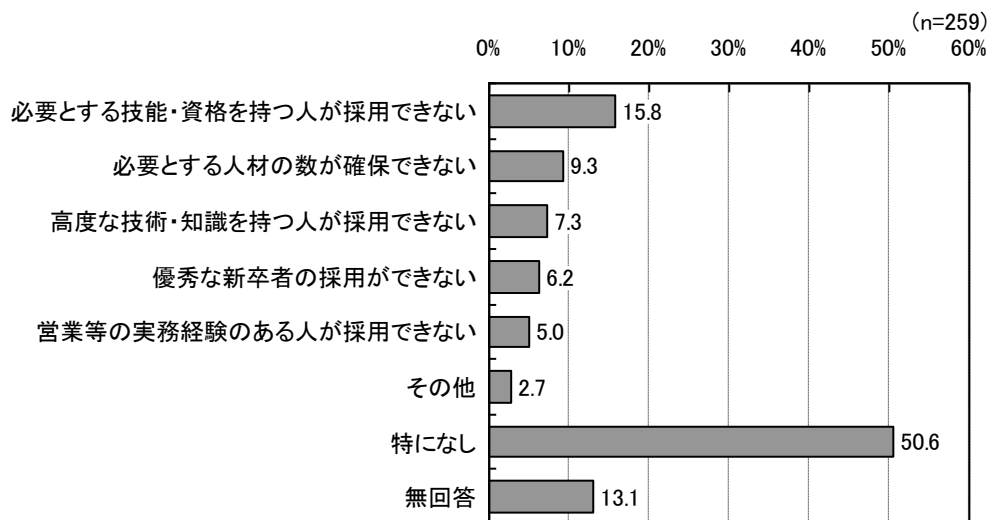


### (7) 従業員採用に関する課題 [問 23]

「必要とする技能・資格を持つ人が採用できない」との回答が 15.8%と最も多く、「必要とする人材の数が確保できない」9.3%がこれに続く。

また、約半数の事業所は「特になし」(50.6%)と回答している。

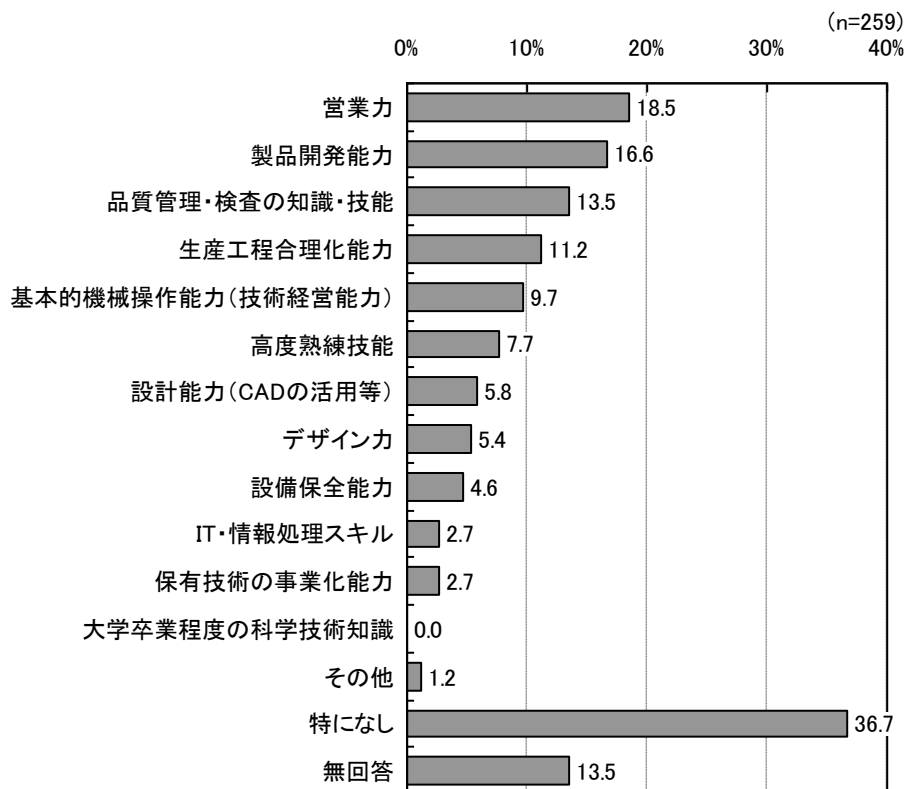
図表I-3 1 従業員採用に関する課題



### (8) 人材に充実させたい能力 [問 24]

「営業力」が 18.5%と最も多く、ついで「製品開発能力」16.6%、「品質管理・検査の知識・技能」13.5%となっている。

図表I-3 2 人材に充実させたい能力

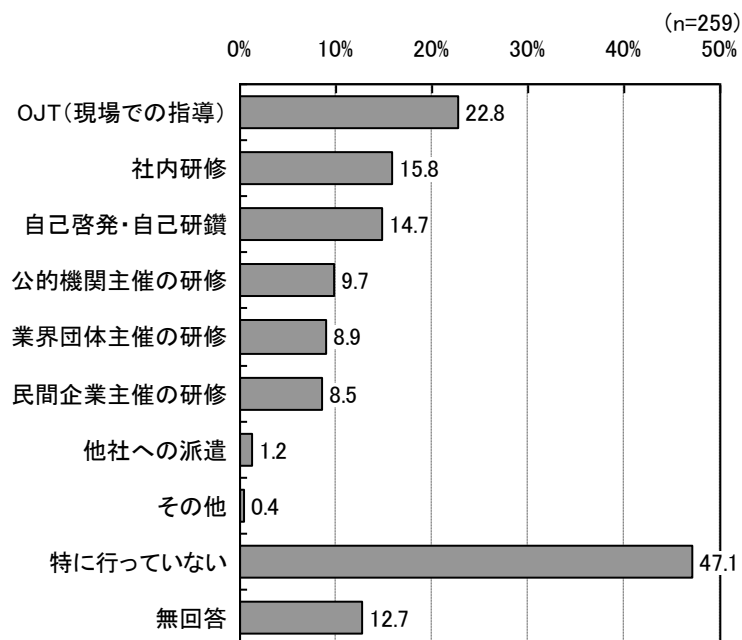


### (9) 人材育成のために実施している取り組み [問 25]

「OJT」が22.8%と最も多く、ついで「社内研修」15.8%、「自己啓発・自己研鑽」14.7%となっている。

また、半数弱の事業所は「特に行っていない」(47.1%)と回答している。

図表I-33 人材育成のために実施している取り組み

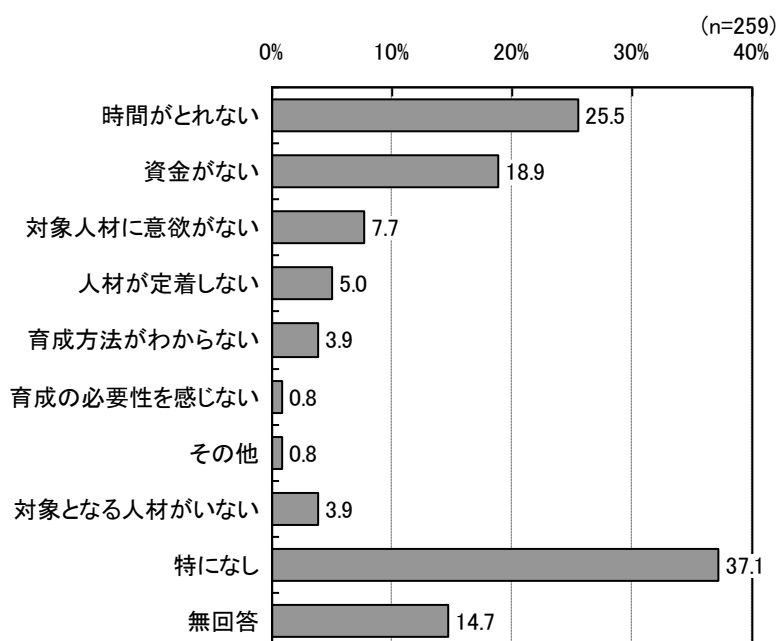


### (10) 人材育成上の課題 [問 26]

「時間がとれない」が25.5%と最も多く、「資金がない」18.9%がこれに続く。

また、4割弱の事業所は「特になし」(37.1%)と回答している。

図表I-34 人材育成上の課題

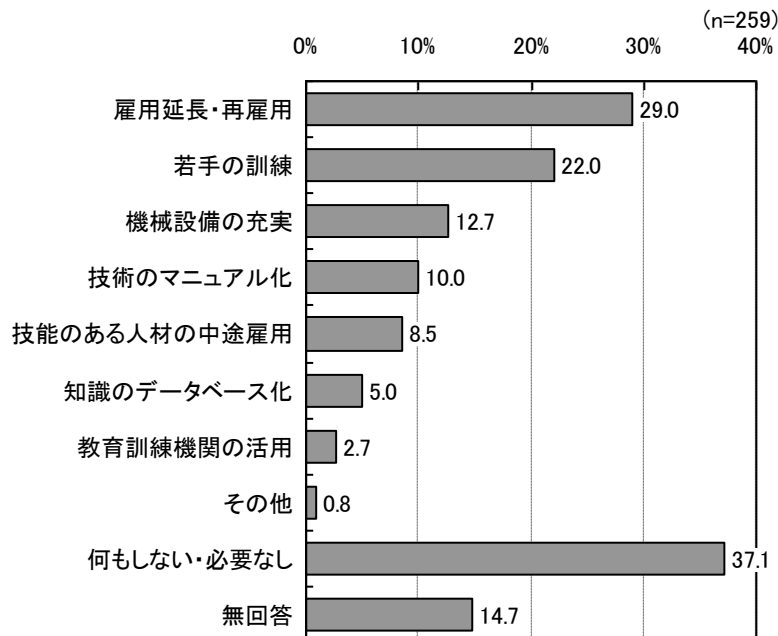




### (11) 技能継承問題への対応状況 [問 27]

「雇用延長・再雇用」が29.0%と最も多く、「若手の訓練」がこれに続く。  
また、4割弱の事業所は「何もしない・必要なし」と回答している。

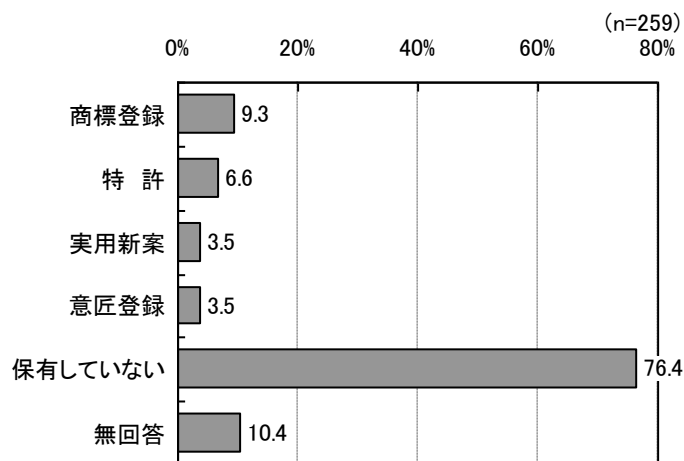
図表I-35 技能継承問題への対応状況



### (12) 保有している知的財産権 [問 28]

「保有していない」(76.4%)との回答が最も多く、8割弱を占める。  
保有している知的財産権としては、「商標登録」が9.3%と最も多い。

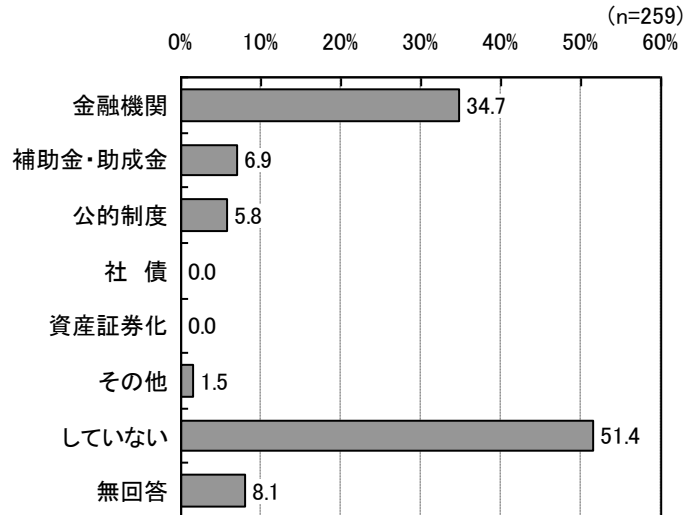
図表I-36 保有している知的財産権



### (13) 過去1年間の資金調達手段 [問 29]

「金融機関」が 34.7%と最も多く、「補助金・助成金」6.9%、「公的制度」5.8%がこれに続く。

図表I-37 過去1年間の資金調達手段

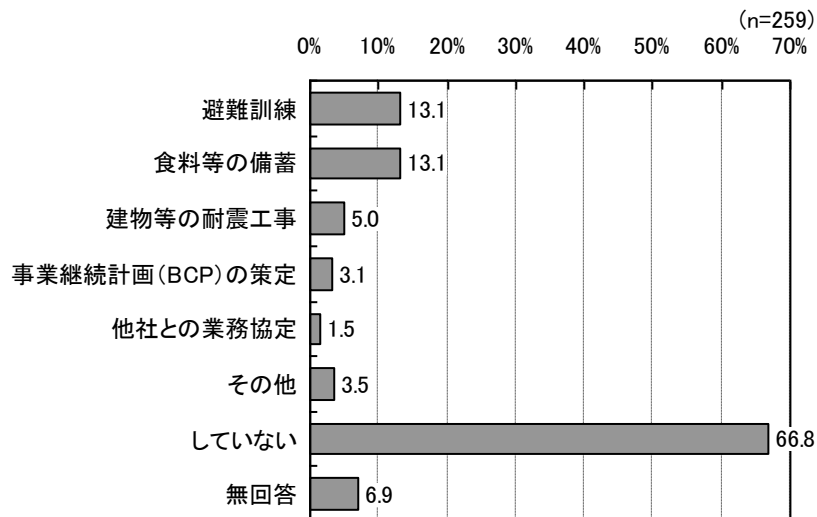


### (14) 災害への備え [問 30]

災害への備えを行っている事業所は3割弱である。

うち、「避難訓練」「食料等の備蓄」がともに13.1%と、最も多くなっている。

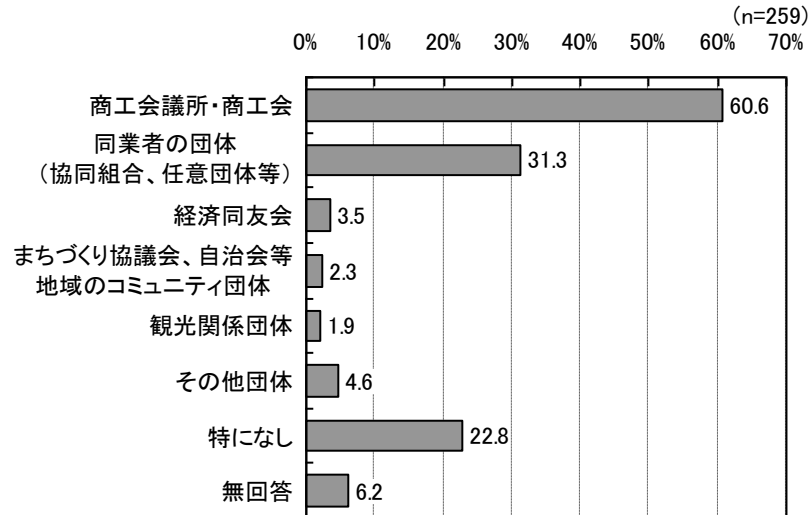
図表I-38 災害への備え



(15) 加盟している関係団体 [問 31]

「商工会議所・商工会」が 60.6%と最も多く、「同業者の団体（協同組合、任意団体等）」31.3%がこれに続く。

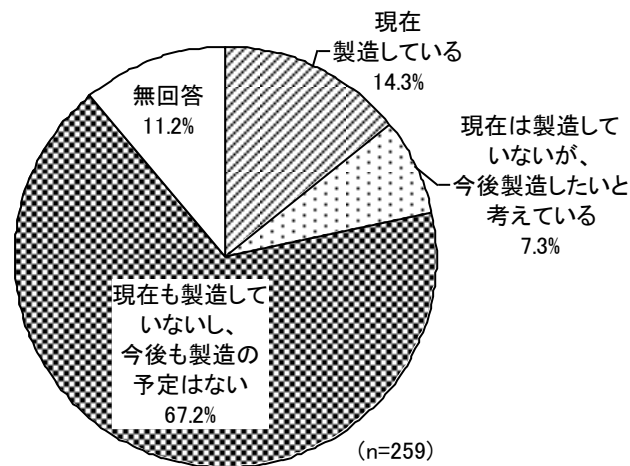
図表I-39 加盟している関係団体



(16) 地域資源を使った製品の製造状況 [問 32]

「現在製造している」事業所は 14.3%であり、「現在は製造していないが、今後製造したいと考えている」7.3%を併せると、2割強の事業所に地域資源の使用意向がある。

図表I-40 地域資源を使った製品の製造状況



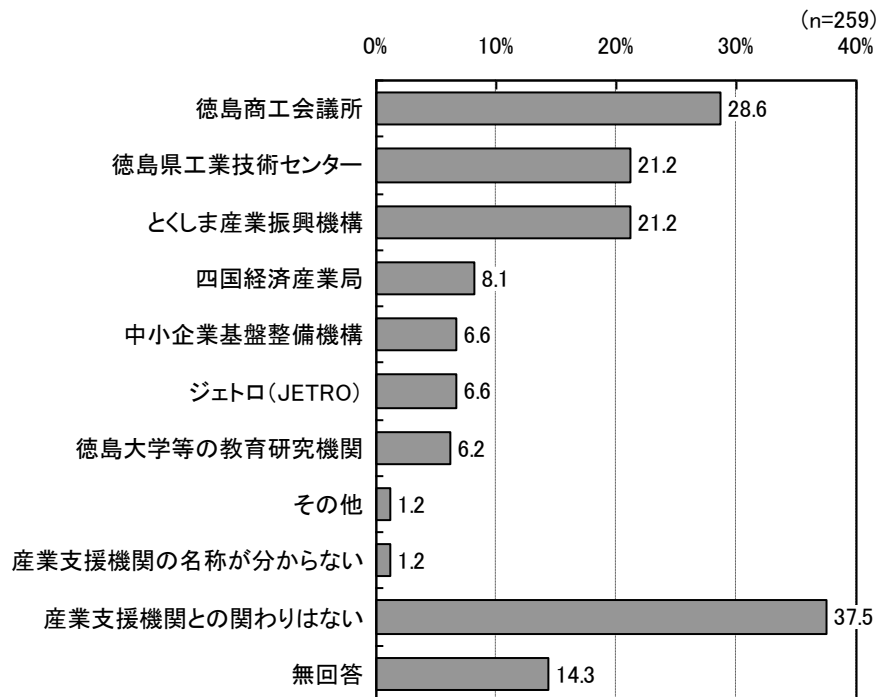
## 6. 支援策の活用状況

### (1) 関わりがあった産業支援機関 [問 34]

半数弱の事業所が産業支援機関と関わりがあったと回答している。

「徳島商工会議所」が28.6%と最も多く、ついで「徳島県工業技術センター」「とくしま産業振興機構」がともに21.2%となっている。

図表I-4 1 関わりがあった産業支援機関

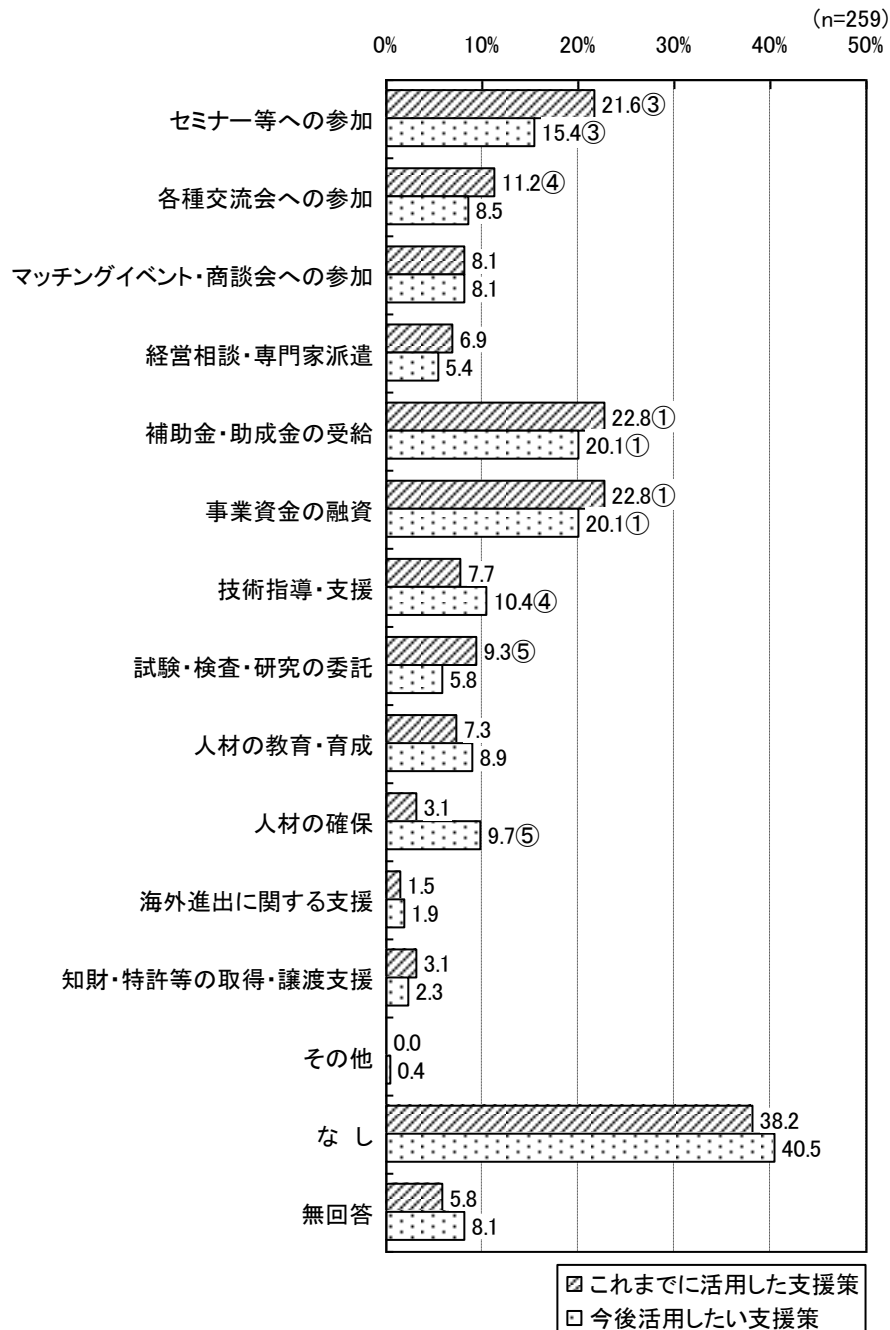


## (2) 支援策の活用状況・意向 [問 35、問 36]

これまでに活用した支援策をみると、「補助金・助成金の受給」「事業資金の融資」がともに22.8%と最も多く、ついで「セミナー等への参加」21.6%となっている。

同様に、今後活用したい支援策においても、「補助金・助成金の受給」「事業資金の融資」がともに20.1%と最も多く、「セミナー等への参加」15.4%がこれに続く。

図表I-4 2 支援策の活用状況・意向



※丸数字は上位5位の項目

これまでに活用した支援策別に今後活用したい支援策をみると、「補助金・助成金の受給」「技術指導・支援」を活用した事業所は今後も同じ支援策を活用したいと考える割合が高い。

一方、「各種交流会への参加」を活用した事業所が今後も同じ支援策を活用したいと考える割合は比較的低くなっている。

図表I-43 これまでに活用した支援別にみた今後活用したい支援策

	全 体	これまでに活用した支援策													
		セミナー等への参加	各種交流会への参加	・マッチングイベント・商談会への参加	経営相談・専門家派遣	給補助金・助成金の受給	事業資金の融資	技術指導・支援	委託試験・検査・研究の	人材の教育・育成	人材の確保	海外進出に関する支援	・知財・特許等の取得	その他	なし
調査数	259	56	29	21	18	59	59	20	24	19	8	4	8	-	99
セミナー等への参加	15.4	58.9	34.5	42.9	27.8	25.4	18.6	20.0	33.3	47.4	25.0	25.0	12.5	-	2.0
各種交流会への参加	8.5	28.6	24.1	19.0	16.7	10.2	11.9	10.0	12.5	21.1	25.0	-	-	-	4.0
マッチングイベント・商談会への参加	8.1	19.6	20.7	42.9	33.3	18.6	10.2	25.0	20.8	26.3	25.0	25.0	-	-	3.0
経営相談・専門家派遣	5.4	17.9	17.2	23.8	44.4	13.6	8.5	15.0	12.5	26.3	12.5	50.0	-	-	2.0
補助金・助成金の受給	20.1	42.9	48.3	66.7	55.6	66.1	23.7	55.0	54.2	68.4	62.5	100.0	62.5	-	1.0
事業資金の融資	20.1	28.6	37.9	47.6	50.0	28.8	42.4	25.0	25.0	31.6	50.0	50.0	25.0	-	8.1
技術指導・支援	10.4	21.4	34.5	47.6	27.8	22.0	15.3	60.0	29.2	42.1	25.0	50.0	25.0	-	2.0
試験・検査・研究の委託	5.8	16.1	17.2	28.6	22.2	13.6	10.2	25.0	50.0	26.3	25.0	50.0	12.5	-	-
人材の教育・育成	8.9	23.2	17.2	23.8	27.8	20.3	8.5	30.0	29.2	57.9	12.5	25.0	-	-	3.0
人材の確保	9.7	10.7	17.2	23.8	22.2	11.9	10.2	20.0	29.2	21.1	37.5	-	12.5	-	7.1
海外進出に関する支援	1.9	5.4	6.9	9.5	11.1	8.5	1.7	-	4.2	5.3	12.5	25.0	12.5	-	-
知財・特許等の取得・譲渡支援	2.3	3.6	6.9	14.3	11.1	8.5	5.1	5.0	8.3	10.5	37.5	25.0	25.0	-	1.0
その他	0.4	-	-	-	-	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
なし	40.5	7.1	10.3	9.5	5.6	10.2	32.2	15.0	4.2	5.3	12.5	-	-	-	75.8
無回答	8.1	1.8	6.9	-	5.6	8.5	3.4	10.0	12.5	5.3	-	-	12.5	-	3.0

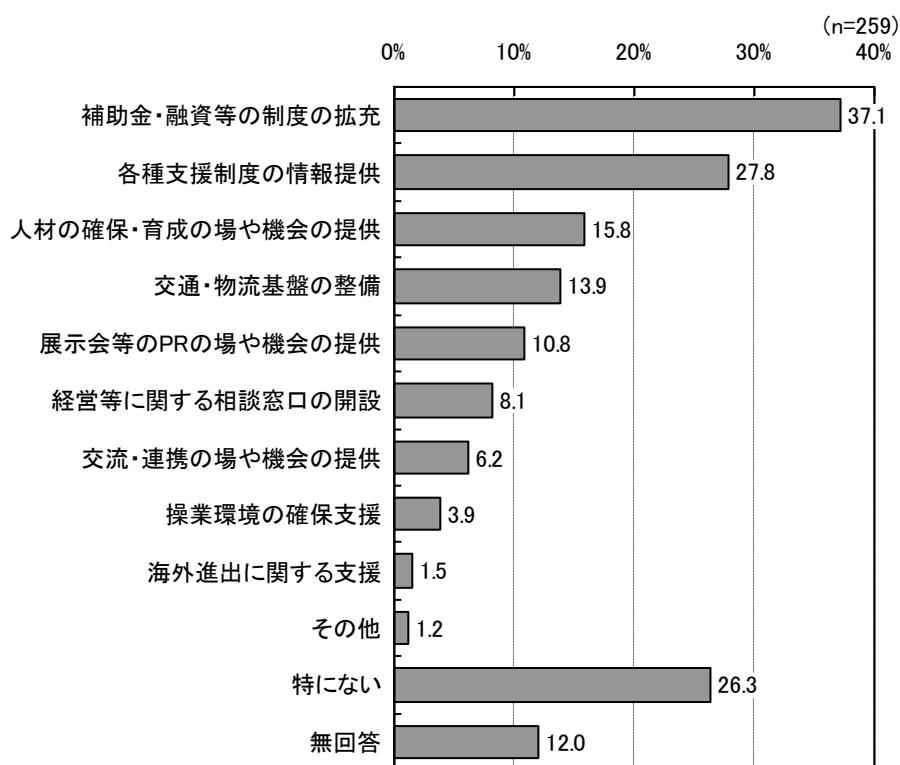
※濃い網掛けは全体を10ポイント以上上回る項目、薄い網掛けは全体を10ポイント以上下回る項目

## 7. 徳島市が取り組むべき産業振興

### (1) 徳島市の産業振興に向けて市が行うべき取り組み [問 37]

「補助金・融資等の制度の拡充」が 37.1%と最も多く、ついで「各種支援制度の情報提供」27.8%、「人材の確保・育成の場や機会の提供」15.8%となっている。

図表I-4 4 徳島市の産業振興に向けて市が行うべき取り組み



## 8. 自由意見

今後の徳島市の産業振興のあり方に関する意見は、以下のとおりである。

### 【企画が必要】

- ・ 観光事業を多く企画し、他府県の人々を多く呼ぶ。新しい施設は造らず(維持費が多くかかる、人口は少なくなっている)。
- ・ 徳島市が持っている、民間資力の向上につながる諸策が必要と思う。商業、住居が乱雑な状況ではなく、地域の魅力が増し豊かさが実感できる策、もしくは青写真が作成されることが必要。

### 【施設・インフラの整備】

- ・ 徳島市内に大型商業施設が必要。例えば川内辺りで高速道のPAそのものを大型商業施設として、一般道からも入れるようにする。
- ・ インフラの整備。
- ・ 商談上、神戸淡路道の値下げおよび徳島市内の道路状況の改善。
- ・ 観光地等へのアクセス道路の見直し。動物園への道、55 バイパスからの入口がわかりにくい。眉山への道、狭すぎて迷ってしまう(城南側)等。観光客を集めよう。県外企業の誘致。

### 【企業誘致】

- ・ 地産地消もいいが、県外業者の誘致はどうか。若い働き手が県外(市外)に出るのを止めなければならない。
- ・ 事業資金の誘致のあり方。

### 【支援策が必要】

- ・ 資金難で困っている。成長が20%を超えているので、事業が拡がりはじめているので工場など狭くなっている。広い場所の移転を考えているが、資金がない。ゆずで徳島を有名にしたのでご協力を。
- ・ 事業資金の融資がなかなかでするので大変困る。大きな仕事 cameたら材料が先払いになる。今までは借りやすかったのに、昨年あたりよりなかなか貸付してくれない。
- ・ 小さな個人商店にまで均等に仕事や融資制度などがあればいいと思う。
- ・ 当社は2~3人の小さな会社で、下請けで仕事をしている。4~5年前より仕事が激減し、同業者で仕事を取り合い単価も下がって、廃業しているところもある。県内の大手の工場、会社などが忙しくなって仕事が確保できないと、当社のような下請は生き残ることは難しいと思う。県内の大手の工場、会社などが引き続き県内で事業が継続できるような支援をお願いしたい。
- ・ 県の林業(製材)に対する取り組みはいろいろとあるが、市独自の取り組みはないように思う。市内で残り少ない製材(木材業)に対する支援策をしてくれるようお願いしたい。県の補助金が出ても、協同組合ばかりに行ってしまう。個人企業にも支援を。
- ・ 地場産業である木工業の衰退に歯止めがかからない状況。その周辺の事業所としては非常に厳しいところ。もっとこの特色を持った産業に対しての支援を積極的に行って欲しい。
- ・ 零細企業はいくら努力しても結果が出ない。円安のパンチは木工業には木材の高騰。関東方面の仕事がほとんどで、輸送費の値上げで8~9・10時まで働いてもボーナスも出せない



のが現状。働くのはみんな好きで頑張っていますが、頭の痛い昨今です。

- ・ 地場産業の支援。
- ・ 地場の寿司業界を支援して欲しい。
- ・ 小さな家族で営んでいる看板屋です。アベノミクスもあまり関係がない。現状維持が精一杯。看板業界の景気が少しでも良くなることを祈っている。
- ・ 業界の団体が少なくなり、販路開拓に力を入れて欲しい。

#### 【その他】

- ・ 小規模工場(貸工場)があれば知らせて欲しい。
- ・ こちらから調べないと情報が入ってこないのが現状。もっと国がPR するべき。企業に対して、本当にやる気を感じない。
- ・ 木工会館の存続。
- ・ 食べ物もおいしい。水もうまい。住みやすいまちだと思う。全部の人たちがギラギラと頑張るのを見るのは辛い。